
開講科目名：国際法研究 (B) (2単位)
開設年次：1年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：ウミリデノブ アリシエル

《授業の概要》

本授業では、国際法の基礎的理解とその実際の働きについて学習する。大学院向けの本授業では、学部レベルと異なり、現在国際法において問題となっている最新の問題点を取り上げ、受講生の批判的思考力を活性化させるために、ソクラテス式問答法に基づいて授業を展開する。

前期において学習したもの元に、後期では国際法の重要な判例を勉強し、判例法が国際法の発展（慣習国際法、条約法など）に与えたインパクトを検討する。

・この授業を英語で行う。したがって、参加者には議論に参加できるレベルの英語能力が必要となる。

【授業計画】

- 16 国際法と国内法の関係
- 17 グローバルガバナンス・国際法の政治学・倫理学
- 18 ケーススタディ (Case concerning Right of Passage over Indian Territory)
- 19 ケーススタディ (The Paquete Habana)
- 20 ケーススタディ (Case concerning Rights of Nationals of the United States of America in Morocco)
- 21 ケーススタディ (Anglo-Iranian Oil Co. Case)
- 22 ケーススタディ (Case concerning Gabčíkovo-Nagymaros Project)
- 23 ケーススタディ (Case concerning the Arbitral Award Made by the King of Spain on 23 December 1906)
- 24 ケーススタディ (United States-Import Prohibition of Certain Shrimp and Shrimp Products)
- 25 ケーススタディ (Case concerning United States Diplomatic and Consular Staff in Tehran)
- 26 ケーススタディ (Soering case)
- 27 ケーススタディ (Case concerning the Continental Shelf (Tunisia/Libyan Arab Jamahiriya))
- 28 ケーススタディ (Legal Consequences of the Construction of a Wall in the Occupied Palestinian Territory)
- 29 ケーススタディ (Legality of the Threat or use of Nuclear Weapons)
- 30 まとめ

＜評価方法＞

受講態度および報告により総合的に評価する。

＜質問への対応＞

授業時間内、メールまたはオフィスアワー（犬山キャンパス研究室）において対応します。＜/NAIYO

《テキスト》

Jan Klabbbers, International Law, Cambridge, 2013

《参考書》

Eirik Bjorge and Cameron Miles, Landmark Cases in Public International Law, Hart Publishing, 2017